



仏壇・墓石
ぬし与

●桑名本店 ●四日市店 ●蟹江店
●桑名メモリアルパーク

第9回員弁組門信徒の集い

恵信尼公750回忌法要 員弁組佛教婦人会連盟結成50周年記念大会



第9回 員弁組 門信徒の集い 開催 in 新潟

140名のご参加をいただき、観光バス4台で、10月22日、23日に新潟県上越市を訪れ、2日目の23日に本願寺国府別院で「第9回員弁組門信徒の集い」を開催した。

本願寺国府別院本堂で、員弁組として恵信尼公750回忌法要を勤修した。

国府別院輪



番・中岡順忍師ご導師のもと、
員弁組内 僧侶10名が出勤し、

員弁組内僧
侶 4名が
雅楽を奏
樂し、宗
祖讚仰作
法（しゅう
かく）を勤
修した。

▲中岡順忍師
そさんごうさ
ほう）音楽法要をお勤めした。

ご参加の門信徒の皆さんと、

国府の地で親鸞聖人がお作りになった正信偈、念佛和讚をお勤めできることはとても感慨深いものがあった。

承元元年（1207年）、専修念佛停止の法難により、親鸞聖人が35歳の時に流罪となり、越後国府に約7年ご逗留になった。それから八百余年の年月を経て、私たち員弁組の門信徒一行は親鸞聖人ご夫妻ゆかりの地を訪れた。



▲員弁組内僧侶



▲雅樂の奏樂

門

信徒の集いに参加して



▲渡辺久美子さん

10月22日～23日、観光バス4台140名もの皆様にお集まり頂き、越後の里にて、『恵信尼公750回忌法要』のお勤めをさせていただきました。

一日目。楽しいガイドさんのおしゃべりで、時間のたつのも忘れ、あっという間に新潟の地へ。妙高連山を遠くに望み、親鸞聖人ご夫婦にゆかりのある各地をたずね、皆様と一緒に恵信尼さまのお念佛に支えられたご生涯に思いを馳せました。この地が現在も淨土信仰の厚い地である事を、『ゑしんの里記念館』にある多くの展示物や、700年という風雪に耐えてきた

『五輪塔』が物語っているように感じた一日目でした。

二日目。本願寺国府別院にて、『恵信尼公750回忌法要』のお勤め。少し雨模様だったのが、法事が始まるやいなや、見事に雨は止みました。笙や太鼓、笛の音が本堂に沁みわたる中、140名もの方々で「宗祖讚仰作法」による音楽法要が大合唱されました。その声は力強く響き渡り、厳肅な中にも温かさに満ちた、自然と心が和んでくる法要となりました。また、8月のプレ門信徒の集いに引き続き、西原祐治先生には二日間にわたり貴重なご法話をお聞かせ頂きました。

今年は台風の被害が大きく、車中から見た千曲川氾濫の爪痕を残す姿は言葉を失うほどでした。想像を絶する被害の中、今なお厳しい環境の中で過ごす被災の方々が沢山いらっしゃいます。今回の法要を機縁として、改めて、私たち一人一人が念佛者として、あらゆる人が心豊かに生きることのできる社会の実現を目指し、共に歩みを進めていきたいと心より念じております。

員弁組佛教婦人会会長 渡辺久美子